

第5回演劇公演

11月21日.

午後5時

22日.午後1時

地点.浜松市.公会堂.

主催.浜松市教育委員会.

浜松市社会人演劇連盟.

浜松市連合青年協議会.

	第一日 11月21日 午后5時開演	
開会の辞	1 演研 青い猫 秋の歌 (小山祐二作)	17.30~18.30
挨拶	2 新津青年団 こいこく	18.50~19.50
祝辭 ◇	3 劇研 竹の子 ロートル選手 (藤田直哉作)	20.00~21.00
開演		
閉会の辞		
	第二日 11月22日 午后1時開演	
	1 東部々会芳川地区 (参野) 河童退散	13.00~14.00
	2 内外編物演劇部 怒りんぼ人情 (小沢不二夫作)	14.20~15.20
	3 サークル ダルマの会 おらあおめえのもぐらもち (内木文英作)	15.40~16.40
	4 天龍部会長上地区 おやじ	17.00~18.00
	5 劇団 からつ風 制服 (阿部公房作)	18.20~19.20

発表会に寄せて

浜松市長 平山博三

演劇は団体競技と同じようにチームワークが大切であることは申すまでもありません。舞台だけでなく、装置にも効果にも、チームワークを必要とします。演劇のなかで協力するということは、ただちに人間としての教養に連なるものです。どうかこの発表会を契機として、一層研究をつまれ、その演劇が生活に調和したものとなられるよう希望いたします。

第四回演劇発表会を催すにあたり、市民の皆様の力強い御支援をお願いする次第です。

期待

浜松市教育委員会 社会教育課長 稲勝正弘

芸術祭の演劇公演も、もう四年目を迎えます。いつもの事ながら、自立職場、青年と各自が代表する演劇集団は違っていても、どの代表も、日常の激しい労働生活の中に、芽生え、育ってきたといふ共通の性格から、これはみんな勤労市民の演劇であります。

有閑な生活の中から、思付きや、趣味だけでやつているものが、この人達のように時間、場所、経費、人員等々と云つた無数の障害を乗り越えて歩いて来られる筈はなく、それ丈にこの人達にとって、生活と演劇との間に、切実な必然なものが、繋っているに違ないと信じています。そういう繋りが、この公演で、どんな清潔な素人らしい表現となるか、特に深い期待をこの点にかけています。

第五回演劇公演にあたつて

実行委員長 飯尾政太郎

市役所主催による芸術祭の一つの部門として市民の演劇が公演されるようになってから本年は丁度5年目を迎へた青年の人達も例年の通りのコンクールを得て此處に演出することになったのであるが、其の間の努力は実に口には云へないものがあると思う。尚其の他自立劇団の職場的に異なるものが一つのサークルを作つて公演する努力も又並大抵のものではない。屋間の勤労に耐へて、毎の練習に於ておやである本年は特に職場劇団の演出の少なかつたのは非常に淋しい思ひであるが来年ははり切つて出演する様多大の努力が望ましいものである。

浜松の皆様の観劇を見る力と申しましようか、目が肥えていると申しましようか、旅から来る芸人は浜松はやりにいいと申します。しかし私達は常にたゆまぬ努力と熱のあるところを充分御批評願いたいと只管思うものであります市民の皆さん、どうか拍手を以つて迎へてやつて頂きたいと心より念願します。

演研 青い猫

秋の歌

小山 祐士作

スタッフ

製作	本間一則
演出	林弘
装置	鈴木利尚
照明	竹弘司
効果	伊藤岩雄
舞台監督	中村舜一

キャスト

水原啓介	鈴木利尚
一枝	平山帛子
皿井克己	石原理企
桐岡襟子	貝清子
一人の女	根津ひろ子

あらすじ

東京の郊外のうらぶれた下級アパートの一隅が、昔の詩人水原と、妻の一枝の住み処である。

水原があやしげな絵を書いて売つても、彼の飲み代にも足りるはずはない。アル中の水原はしらみつぶしに金を借り歩き、倒しまわり、すべての知友を失つてゐる。一枝は酒を相手の客勤め、今日はその勤めにも出ない。水原をふり切つて家を出ても、そのつど、水原の痛々しい姿に引かれて連れもどされて来てはそれが楽しみみたいなけんか暮らしを続けている。

二人の追いつめられ、どうにもならなくなつた閉鎖

的な世界の伝えてくるのは、ヴエルレースの「秋の歌」を基調としたかのとき人生のさびしい色彩であるヴエルレースの孤独なつぶやきと、悔恨とを水原もうたうのだ。

晩秋の雨もよい、うすら寒い夕近く、旧友の皿井が訪ねて来る。一枝は水原がだめな人間になつたのは襟子のせいだと話し始める。皿井は一枝のゆえだと迫るが……。

桐岡襟子が十年ぶりに訪ねて来る。「静かで落ち着いていて、気品があつて、いかにも素直そうな、暗い影の全然ない女」――。

水原啓介のやうな敗北した、タイハイ的な生活者は私自身好きでない。魅力も感じない。作者は襟子を登場させる事によつて水原は誠実さを取りもどすだろうと書いているのであるが、私は、そうと信じ切れないものを感じる。

作者の意図と、私との考へ方が矛盾している水原を演することは非常に苦しい事であるが、せめて、息切れのしないよう演じたいものである。(鈴木利尚)

私はこの幕切れの曖昧な甘さが不満だ。みじめに歪んだ生活から、脱け出ようと試みながらも、たかり酒を続ける、痛ましい夫のもとを去る事の出来ない一枝愛も憎しみも、憐憫も侮蔑も乗り越え、何故もつと勇気を持つて去ろうとしないのか?

そして、すべての人が去つた時、追いつめられた水原の中に生じるもの――それを私は重視する。それは詩作に対する強烈な意欲かもしれない、或いは、自己に対する全くの敗北かもしれない。

(平山帛子)

11月20日より12月5日まで上映

芸術祭参加作品

人間の条件

第3部 第4部

熟練した技術
完全な設備

めがねは

吉田屋

浜松 松 映

浜松駅前広小路通
TEL(2) 2846

新津連合青年会

こ
い
く

野崎 氏治作

スタッフ

吉野令一
井口清子
阿部典子
内山芳子
植松秀子
小楠精一

キャスト

ちか 六十才 中山和子
三造 三十三才 ちかの息子 内山恒志
光枝 二十五才 三造の女房 小梢直子
喜六 五十才 部落会長 内山光弘
のぶ 五十才 隣人 加藤晴美

演出者の言葉

私達は（こいこく）を上演してみて、作者の欲するものは大分離れてしまつた事に気づき、とまどいを憶えた。

青年演劇というものの限界がどの辺にあるかも知つた。夢中になつて、セットするスタッフを見て、又目を赤くはらし、演技するキャストを見ては、演劇は、只、技術や豪華さを誇るものではなく、皆で創り上げるものである事を知つた。



Moode & Music

CHANS-ON

HAMAMATSU-TAMACHI

クラシック・ジャズ・シャンソンの
レコードは

SK レコード商会

旅籠町60 TEL②3876

劇研『竹の子』

ロートル・選手

藤田直哉作

作者の言葉

藤田直哉

現代は余りにもムジュンが多過ぎる様です。
どこを向いても不都合なことばかり、

私はこの芝居で

その不都合なムジュンを、ちょっとびり

披露してみました。

笑いの中にそれらしいを感じさせる様な
スタイルで
そうです。私は現代のムジュンのほんの少しを
諷刺しているつもりなのです。

スタッフ

脚本	本藤田直哉
演出	出藤田直哉
製作	作官地
舞台監督	安井通哉
照明・効果	渡辺英弥
装飾	置木良雄
衣裳	零石本照正

村上哲三	千賀英夫
菊子水野玲子	賀尚英
久ますみ伊藤玲子	長田玲子
南川勇士	長田玲子
南川勇士	長田玲子
長岡正	藤田康子
長岡正	藤田康子
後藤正	藤田康子
後藤正	藤田康子

キヤスト

あらすじ

かつて、はなやかなぶらやきゆうせんしゆだつたら
からみてつぞうをじくとして、そのいつかのかつとう
をえがいたものです。

アウルガソリン

亜細亜石油株式会社

代理店

矢島石油店

浜松市高林町86 (日赤病院前)

電話③1664 ③3082

甘納豆製造元
上生菓子

栄徳屋

浜松市高林町59 (日赤前)

電話②6630

サークル だるまの会

“おらはおめえの
ちぐらもち”

内木文英作

スタッフ

製	演	装	照	出	作	野
出	置	明	果	大	土	光
衣	効	野	具	谷	師	野
裳	照	口	小	道	健	口
協力団体	浜	鈴	道	木	興	春
	商西	木宣	木	宣	司	江一
	高演劇部	江子	江	代		

梗概

「楽しい劇を作ろう」皆の願いをこめた、だるまの会員の第一歩にふさわしい愉快な劇が上演されようとしている。
モデルも何もない全くの作りものの劇である。したがつて場所も時もいつでもどこでもよい。ある農村の出来事である。

「お人好しき」の代表者みたいな藤吉と雄一の結婚話しからくりひろげられる親子の愉快な対立、すんだ現代の生存競争の中にもお人好しが馬鹿をみない未来？ そんなとつぴようしもない夢をみながら「お人好し万才」と強く叫んでみたい。

私達のサークルの初めての集りは今年の二月二十六日の寒い夜でした。その時集つたのはたつたの七人でした。しかしながら七人が七人共これからの自分達の新しいサークルの運営に對しての情熱でそんな寒さなんか吹きとばしてしまったうな思い出の夜でした。

こうしてだるまの会はその第一歩を第一幼稚園に於いて踏み出したのです。

疲れた仕事や学校の授業を終えて集まる皆の集りはあたかも遅刻コンクールの感があるから改めようと落書きで戒しめ合つたり、サークルの会員達全員での楽しい海水浴、又練習前のコーラス、そのコーラスが美声あり音痴ありで結構アンサンブルのとれたコーラスになつてゐるのが不思議なものである。

そんな集りが仕事の疲れをいやし又、明日の活動を約束して居るのだ。



あなたのお体の
一部として活動する

丸和の生きた洋服

注文服専門

丸和洋服店

田町本町通り 電②3311

写真の事なら何でも………

長年の経験を
皆様のお役に
立たせて下さい

テラザワ

馬込店 Tel②3670 連尺店 Tel②3090

浜松市芸術祭発表作

第1回

昭和30年12月4日

浜松公会堂

1. もう少しだ待つて居る
2. むじな沢のはなし
3. 村の保守党
4. 明日を告げる鐘
5. 深い疵
6. 血漿

国鉄浜松工場演劇部
笠井青年団
劇団からつ青年会
新津連合青年会
芳川青年会
劇研ひくまの

第2回

昭和31年12月2日

誠心高校ホール

1. 長女
2. 国境の夜
3. 笛
4. 思い出を売る男
5. 帰郷
6. 終列車の男

長吉上野青年会
劇研ひくまの
西部々会広沢青年会
劇団からつ風
大和染工演劇部

第3回

昭和32年11月24日

誠心高校ホール

1. けつまづいてもころんでも
2. にせあかしや
3. 紙飛行機
4. めんど
5. 雪の山
6. めでたい座敷期
7. 収穫
8. 祝日
9. 修禅寺物語

長上青年会
内外編田青研
飯本技研ひくまの
劇団からつ年会
劇団からつ演劇部
大和染工演劇部
松菱演劇部

第4回

昭和33年12月6.7日

浜松市公会堂

第一日目

1. 若い炎
2. 死神やらいれ
3. みちづ

内外編物演劇部
天竜部会長上地区
劇研(ひくまの、たけのこ合同)

第二日目

1. 人切り以蔵
2. 峰の青春
3. 川上音観
4. 燈才
5. 二十

風団からつ年劇部
神久技研青い猫
本劇團青い猫
天竜部会笠井地区

芸術祭のプログラム五号

和洋酒食料品

駿河屋酒店

浜松市佐藤町

TEL⑧1645

発行者 浜松市教育委員会
編集者 社会人演劇連盟

印刷所 朝日堂印刷所
浜松市海老塚町 電②六八六八

ペンリイ号
ドリーム号

ホンダ号
スーパーカブ号

マニヤの夢

ホニタ"がおくる

スピード トリオ

スープースポーツ

浜松市葵町34
本田技研工業株式会社 浜松製作所